

# 「腹膜透析患者における血中重炭酸イオン濃度の検討（血液透析患者との比較）」へのご協力をお願い

- 平成 26 年 9 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までに

岡山大学病院において透析治療を受けられた患者さんへ-

研究機関名	岡山大学病院 腎臓内科			
責任研究者	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	慢性腎臓病対策腎不全治療学講座	教授	杉山 齊
分担研究者	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	病態制御科学専攻病態機構学講座		
		腎・免疫・内分泌代謝内科学分野	准教授	和田 淳
	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	慢性腎臓病対策腎不全治療学講座	助教	山成俊夫
	岡山大学病院	医療情報部	助教	森永裕士
岡山大学病院	血液浄化療法部		講師	木野村 賢
岡山大学病院	血液浄化療法部		助教	田邊克幸
岡山大学病院	血液浄化療法部		医員	寺見直人
岡山大学病院	血液浄化療法部		医員	秋山愛由
岡山大学病院	血液浄化療法部		医員	大西章史
岡山大学病院	血液浄化療法部		医員	益田加奈
岡山大学病院	血液浄化療法部		医員	荒田夕佳

## 1. 研究の意義と目的

本来私たちの体液は弱アルカリ性ですが、腎機能が低下するにつれて体液は酸性に傾くようになり、私たちの体に負担となります。透析により体液をアルカリ性にすることができますが、アルカリ性に傾きすぎるのも望ましくないため、適度な調節が必要です。あらかじめ測定された透析患者さんの血中重炭酸イオン（アルカリ性の指標となるものです）を分析し、適正な調節が行えているかどうか調査することで、より良質な透析治療を目指すことをこの研究の目的としております。

## 2. 研究の方法

- 1) **研究対象**：平成 26 年 9 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までに当院で加療された腹膜透析患者さん 22 人と、血液透析患者さん 28 人
- 2) **調査期間**：平成 27 年 2 月の研究倫理審査専門委員会承認後から平成 28 年 12 月 31 日まで
- 3) **研究方法**：平成 26 年 9 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までに当院で透析治療を受けられた患者さんの血中重炭酸イオン濃度のデータをカルテから抽出し、透析方法などの比較・分析を行います。
- 4) **調査票等**：研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し調査させていただきます。あなたの個人情報を削除・匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。
  - ・血中重炭酸イオン濃度
  - ・透析方法（血液透析・腹膜透析）、透析期間、腹膜透析メニュー、血液・尿・透析排液データ、病理学検査、感染症検査
  - ・腎機能低下となった原因の疾患
- 5) **情報の保護**：調査情報は岡山大学病院腎臓内科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連する学会および論文、インターネットにて発表される可能性があります。

本研究は、岡山大学病院 研究倫理審査専門委員会で承認されています。

この研究にご質問等ございましたら下記までお問い合わせ下さい。ご自身やご家族の研究結果の開示を希望される場合も下記の連絡先までお申し出下さい。なお、ご家族が希望される場合は、ご本人の承諾が必要

となります。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 腎臓内科 杉山 斉、森永裕士、山成俊夫  
血液浄化療法部 秋山愛由、大西章史  
電話：086-235-7235 FAX: 086-222-5214